

平成31年度(令和元年度) 内部監査結果及び
令和2年度 内部監査実施計画について

1 平成31年度(令和元年度) 主な内部監査結果(主な指摘・検討事項)

監査内容	実施結果
働き方改革関連法の施行に伴う取組状況	<p>【指摘事項】 (両大学共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学長のトップマネジメントのもと、大学全体でこれまでの取組以上に踏み込んだ具体的な時間外労働の削減に向けた取組 ○ 労働時間の客観的な把握に必要な勤怠管理システムの早期導入 ○ 現在の教員の勤務実態に踏まえ、早期に専門業務型労働制を導入 <p>【検討事項】 (両大学共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 勤務実績の自動集計や教時間外労働の実績をリアルタイムに監視できる機能等、勤怠管理システムの付加機能の整備 ○ 年5日の年休の確実な取得のための管理システムの整備及び年休の計画的な取得に向けた取組 ○ 同一労働同一賃金制度の来年度導入に向けた規程整備や予算の確保
産学公連携の取組状況	<p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学内研究シーズの情報発信、民間企業等とのマッチングによる受託・共同研究や知的財産の権利化及び実用化の促進(府立医科大学) ○ 地域ニーズに応じた事業内容の見直し等による地域貢献型特別研究の充実、受託・共同研究や知的財産の権利化及び実用化の促進(府立大学)
毒劇物管理対策の取組状況	<p>【検討事項】 (府立大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3年以上の使用実績のない毒劇物を廃棄する基準に対し、現在の使用実態を踏まえ、今後の使用見込みの有無を毒物劇物管理責任者及び同保管責任者が毎年、判断し廃棄することをルール化 ○ 各講座の予算上の制約から使用見込みがないにも関わらず、毒劇物が廃棄できない状況にならない仕組みづくり <p>※ 府立医科大学については、大学からの要請を受け、毒劇物の管理体制や規程等を整備中のため、令和2年度で内部監査を実施</p>

2 令和2年度内部監査実施計画

実施年月	監査内容	対象機関
令和2年 4月～6月	府立医科大学及び北部医療センターの保育所の運営状況	医大(企画・研究支援課) 北部医療センター事務部
7月～9月	働き方改革関連法施行に伴う取組の進捗状況	医大(総務課) 府大(管理課)
11月～12月	公的研究費(科研費、受託費等)内部監査 (内部監査、両大学事務局合同実施)	両大学(令和元年度分公的研究費 執行研究課題等)
令和3年 1月～3月	府立医科大学における毒劇物管理対策の取組状況	医大(経理課他)